

さみどり

二宮町立一色小学校
学校だより「さみどり」
平成29年度 第1号(5/18)
発行者：校長 古正栄司
一色小学校：0463-71-1543

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。

お子様のご入学・ご進級から1か月半がたちました。緊張で疲れた心と体を癒すにはちょうど良い長さの連休ではなかったでしょうか。連休明けの8日(月)の朝は、新西谷戸橋で地域の方々や保護者の方と一緒に子供たちの登校の様子を見守り、そのまま登校班に付き添って学校まで戻りました。校長として赴任してから初めて、子どもたちとゆっくり話げできたように思います。

さて、この1か月半の主な出来事を少し振り返ってみます。

【始業式・入学式等】

4月5日(水)、昨年度より4名多い30名の新入生を迎え、245名で新年度がスタートしました。3月の卒業生が45名でしたので、全校児童数は少し減っています(転出入があるため、単純に15名減ではありません)。

始業式では、自分も含め、新しく着任した先生の紹介から始まり、担任発表と全ての教職員の紹介をしました。新たな出会いの場面は、いつ見ても微笑ましい光景です。ここでの「校長先生のお話」では、一番大事に思っている話をしました。それは、次の通りです。

- 子どもたちが「毎日登校したい」と思う学校を作りたい
- あいさつをしよう
- 「からかい」や「いじめ」のない学校にしよう
- 先生たちも頑張るので、みんなにも協力してほしい

あとは、「絵に描いた餅」とならぬよう、実行あるのみです。続く入学式でも、校長としての思いは同じ。人と良好な関係でつながれるようにとの思いで、「友達100人作るための『魔法の言葉』」として挨拶の大切さを話しました。



【授業参観・懇談会】

6年生は4月12日に、1年生から5年生は14日にそれぞれ行いました。保護者の方々が大勢来ているとあって、授業参観時の子どもたちはいつもより張り切っている感じでした。学校へ何回も来ていただかなくて済むよう、6年生については、授業参観・懇談会に引き続き、体育館で修学旅行説明会を行っています。また、修学旅行説明会に出席していただくと小学生のお子さんが複数いる場合他学年の懇談会への出席が難しくなるため、6年生のみ別日程で行っています。



【ゆう山会】4/15(土)午前

〈参加者全員集合!〉



今年度1回目の「ゆう山会」が友情の山の竹林で行われました。当初、8日に予定していた竹の子掘りですが、3月後半から気温がなかなか上がらなかったため竹の子の成長が芳しくなく、一週間延期してこの日に実施しました。その甲斐あってか、程よいサイズの竹の子が50本以上採れました。今年は例年よりも参加者が多かったようですが、少なくとも1



軒に1本は持ち帰っていただけただけで良かったです。10年以上続いている「ゆう山会」がこのような盛況であることは、大変素晴らしいことです。当日は、発足当初から会長をされている渡辺会長も参加され、一緒に楽しいひと時を過ごされました。次回のゆう山会は、6月10日(土)の「梅もぎ」の予定です。お楽しみに。

【1年生を迎える会】 4/25(火)

新しい学年になってからですので、準備・練習の時間は十分ではありませんでしたが、この時期を逃しては意味が薄れてしまうため、4月に行いました。児童会の子どもたちが中心になって企画・運営しました。6年生に手をつながれて花のアーチをくぐって入場してきた1年生は、なんと嬉しそうな顔でしょうか。5年生から手作りペンダントをプレゼント



(私も新入生扱いしてくれ、1つプレゼントされました。今も校長室に飾ってあります)されたり、在校生と1年生とが互いに歌を歌って交流するなど、とても素敵な交流の場でした。これから縦割り班での交流も始まります。異学年間の交流は、とても価値のある活動です。1年間、どんな交流があるか、お楽しみに。

これから縦割り班での交流も始まります。異学年間の交流は、とても価値のある活動です。1年間、どんな交流があるか、お楽しみに。

【家庭訪問】 4/27～5/2

保護者の方々と学級担任とが互いに信頼関係で結ばれ、両者が同じ目線で子どもを見守り育てることはとても重要なことです。短い時間ではありますが、学校としてはとても大切にしている時間です。これを機に、何でも担任に相談していただけるようお願いいたします。学年学級にとどまらず、「他の子にも」とか「学校として」といったご相談であれば教頭・校長に。身体・健康に関わることであれば養護教諭に。登校の不安や発育・発達に関する相談であれば、教育相談コーディネーターに。誰に言えばいいかわからない、という場合は取り敢えず学校に、どうぞいつでもご相談ください。

【感謝の会】 4/28(金)



登下校見守りボランティアなど、日頃より子どもたちの学校生活を支えてくださっている地域の方々をお招きし、子どもたちと学校から感謝の気持ちを伝えるために、体育館で「感謝の会」を行いました。私が子どもたちに「ステージの上でいらっしゃる人、ほとんど顔を知っている子は手を上げて」「何をしてくださっている人たちか、知っている人は手を上げて」と呼びかけると、どちらもたくさんの手が上がりました。私が嬉しかった以上に、参会者のみなさんはもっと嬉しかったことでしょう。

見守りボランティアの方々の活動の原動力は、他ならぬ、子どもたちの「笑顔」と「挨拶」です。「ここにいらっしゃる優しい皆さんを、さらに優しい人にする方法」といった内容で、子どもたちには改めて挨拶の大切さを伝えました。がしかし、挨拶をするのが苦手なお子さんがあるのも事実です。そんな時は挨拶を無理強いせず、こちらが繰り返し挨拶の言葉をかけ続けるのが良いです。すると、いつか必ず挨拶が返ってくるようになります。不思議ですが本当です。「挨拶は、人と人をつなぐ魔法の言葉」たる所以です。

【開校記念日】 5/1(月)

昭和40年(1965年)5月1日、二宮小学校一色分校(明治23年1890年、設立)から昇格して開校してから52回目の開校記念日を迎えました。平成29年3月の卒業式で、総数5,399人となる卒業生を送り出しました。高度経済成長期の百合丘地区の造成に伴い開校した一色小学校。人口減少社会を迎え、二宮町もこの一色小学校もどのように変わるのか変わらないのかまだわかりませんが、確かにいえることは、平成30年度から一色小学校はコミュニティ・スクールとして学校運営が行われるということです。現在、国は、学校が抱える課題の解決を図り、子供たちの教育活動等を一層充実していく観点から、地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」に転換していくための持続可能な仕組みとして、コミュニティ・スクールの仕組みを推進しています。このことについては、今後、逐一この紙面でもお知らせしていきたいと考えています。